

# 佐渡國しま海道 よれっちゃ伝言板



## 「寄れっ茶屋」 ご応募ありがとうございました

旅の途中でちょっと道を訪ねたり、トイレを借りたり…。

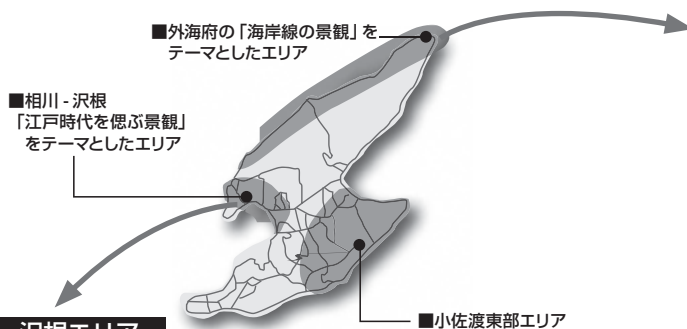
そんな「小さな道の駅」が島のあちこちにあると良いのでは…。

佐渡國しま海道では、そうしたささやかなおもてなしの場所を「寄れっ茶屋(よれっちゃや)」と名付け、協力して下さる方を市報さど1月号、2月号で募集しました。当初は3月末まで応募期間を設ける予定でしたが、おかげさまで当初の予想を上回るスピードで多くの方からお問い合わせいただいたため、2月末をもって公募終了とさせていただきます。約20軒近くがモニター「寄れっ茶屋」として登録することになりました。ご応募いただいた皆さん、ありがとうございました。こののぼりを見たら「寄れっ茶屋」です。ぜひお立ち寄りください。

試行期間は2008年9月中旬までを予定。詳細は追って発表します。

◆お問い合わせ 佐渡國しま海道事務所 ☎57-0118

## ■プロジェクト紹介



相川・沢根エリア

## 「江戸時代を偲ぶ歴史街道」プロジェクト

このプロジェクトは江戸時代、相川金山より江戸に金を運んだルートの一部。相川下戸御番所橋より中山峠を越え沢根に至る道(約4.5km)を中心に進めています。江戸幕府の財政を支えた金銀と、その前の時代に太閤が求めていた銀の産地として大きな役割をもっていたのが、ここ佐渡島です。石見から伝わった採鉱技術を駆使し、さらに開発を重ねて平成元年まで採鉱を続けた先人の苦勞を偲びながら、《中山街道》を歩いてみませんか？

このエリアは道が整備されていないところも多いので「佐渡金銀山古道を守る会」や「佐渡を世界遺産にする会」、今年の2月に発足したばかりの「鶴子銀山へ続く道を歩こうの会」の方々とも連携をとりながら、誰もが楽しく「江戸時代を偲ぶ道」をたどり歩けるようにしたいと取り組んでいます。

相川・鶴子・沢根、少し離れた小木をはじめ佐渡島の各地域が、古くから日本全土と大きな関わりをもっていたことを思い起こし、現代の日本の広い地域の方々とも交流を深めるなど、より多くの皆さまのご参加・お力添えをいただければ幸いです。春には道の草刈りなど行う予定です。

(文:プロジェクト担当者)



外海府「海岸線の景観」をテーマとしたエリア

## 「佐渡島無限海道」プロジェクト

担当 NPO 法人 循環の島研究室

佐渡一周210kmの道は、変化に富んだ海岸線を訪れる人を楽しませます。例えば作家・井上靖は、日本で一番美しい海岸線は佐渡の外海府だと絶賛しています。このプロジェクトでは佐渡の海岸線全体を考えながら、まずは外海府の魅力をたくさんの人々に知ってもらいます。奇岩、巨岩の海岸美。カンゾウやイワユリ。水平線に沈む夕日。海草や山菜。佐渡牛の里などなど。

現在、二つのことから着手しています。まず、特徴ある海辺の岩の名前やいわれを調べる「岩の名は」。イラストや写真の他、地元で聞き取りを行なっています。それから「ヒマワリ栽培」。地元の皆さまのご協力で休耕地にヒマワリを植えています。景観づくりに加え、ヒマワリ油で天ぷらでもできれば楽しいですね。

今後も、力をあわせて外海府の魅力づくりやPRを進めましょう。(文:プロジェクト担当者)

※このプロジェクトの対象地域は、おおむね鷺崎付近から相川市街地の北までの間とします。



「影の神」あわた さちこ・絵